座間市学校再編計画（骨子案）に関する意見公募（パブリックコメント）意見一覧

募集期間：令和７年１０月１６日（木）～１１月１７日（月）
提出者：４４名
意見数：８３件
※このほか、意見提出要件不備３件、本件に関連のない意見１件がありました。市民の声として参考にさせていただきます。

No		意見	市の考え方
意見	提出者		
1	1	相模が丘小学区（ほぼ相模原市境）に乳幼児を持つ家庭です。 正直、小学生が登校するには遠いと言う印象があります。 中学校についても、自転車登校は認められないと伺い、そのあたりも再編していただきたく存じます。	通学距離等に関する御意見として受け止めさせていただきます。 なお、自転車通学についても検討を進めてまいります。
2	2	何が伝えたいのか、何が聞きたいのかわからない。財源はどこからくるのですか？	分かりやすい計画策定や説明に努めてまいります。 具体的な内容は、今後作成する素案以降でお示しさせていただきます。 なお、学校施設整備等に係る費用については、国の補助事業等を活用するなどしながら、限りある予算を最大限有効活用してまいります。
3	3	通学学区の見直しをしてほしい。 入谷東3丁目在住だが子供の進学予定の中学校は座間西中学校で1.8㎞、長い坂道もあるので通学に徒歩30分ほどかかる。 しかし座間中学校なら距離は1.3㎞で、平坦な道も長いので20分もかからない。 入谷東というだけでひとくくりにせず、通学しやすい距離、環境の中学校に通えるようにしてほしい。	通学距離等に関する御意見として受け止めさせていただきます。なお、自転車通学についても検討を進めてまいります。
4	4	中学校の給食実施。早く実現してほしい。 また教材費、修学旅行等も市で負担してほしい。 そして逐一、現金で徴収も時代錯誤。引き落としにするべき。 近隣の海老名市や大和市、綾瀬市、厚木市に比べてかなり遅れをとっている印象。 本当に座間に引っ越してきてよかったと思うことが全くない。 せっかくの機会、1から学校作りをするならば、座間って素敵な学校が多いよねって他市から言われるような学校作りをしてほしい。 座間市は他の市民からとてもバカにされています。うちは座間じゃなくてよかったと。 子育て世代が座間に住みたくなるような学校を作りをしてほしい。	教育行政に関する御意見として受け止め、魅力ある学校づくりに努めてまいります。

No 意見	No 提出者	意見	市の考え方
5	5	再編の方向性の記載があるが、具体的なイメージを持てません。結局、自分の子どもの通う学校がどうなるのか、通学路の安全確保はどうするのか、通学手段は変わるのかといった方策が示されない限り、賛成も反対もありません。	具体的な内容は、今後作成する素案以降でお示しさせていただきます。
6	6	各エリアそれぞれ中央寄りに配置されていると良い 中学校に関しては1.5km以上は自転車通学ありが良い	望ましい学校配置に関する御意見として受け止めさせていただきます。なお、自転車通学についても検討を進めてまいります。
7	7	再編計画に賛成です。 個人的には、子どもが今年少で、新しい開放的で自主的に学べるような再編後の学校に通わせたい気持ちです。 なるべく早い取り組みを希望します！	スケジュール等については、今後作成する素案以降でお示しさせていただきます。
8	8	現在既に1,5kmの距離を登校。統合化によって更に遠い学校への登校を課されると夏場の熱中症、悪天候の登校に対する不安および保護者の学校への訪問対応などにおいてデメリットが生じるため、配慮願います。	通学距離等に関する御意見として受け止めさせていただきます。
9		児童ホームの質向上および定員数拡大を願います。児童ホームに限らずとも放課後の子どもたちの居場所提供、シニア(ボランティア)活動による参画等、共働き世帯の選択肢の拡充をお願いいたします。	子どもたちの放課後の居場所に関する御意見として受け止めさせていただきます。
10		年少人口減少は全国的な問題でもあるかと思いますが、一部地域によっては増加している地域もあります。座間市として、子育て環境の整備・子育て支援策・企業誘致・地域活性化への取り組みを早急に対応願います。	市のまちづくりの最上位計画である「ざま未来プラン」に基づき、人口減少社会に対応した行政運営に努めてまいります。
11	9	小学校の統合は現時点で反対です。これ以上学校が遠くなるのは熱い夏場が心配です。また、通学路の旗振り当番もギリギリでやっているので、遠くなれば旗振り当番も増やさないといけないか、回数が増えるので難しいです。	通学距離等に関する御意見として受け止めさせていただきます。
12	10	小学校で、通常級の中にも学力差があり、個人の学力に合わせたスピードや学習内容で学べる仕組みが欲しい。 ※通級や支援級の他に、個別の対応が可能になるといいなと思います。	今後、新たな学校における学習環境の在り方として検討してまいります。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
13	11	まず、骨子案ですがとても魅力的で心が弾みます。 その中で、オープンスペースは賛成ですが、「間切にできる教室」については一つ意見を失礼します。 他市でも10年以上前から採用されている方法ですが、知り合い数名の話(横須賀市や横浜市)によると、空間が区切られないことでの音楽等の授業の弊害があるといいます。また、感染症が流行っている時期での感染数の多さに頭を悩ませていました。 知り合いの学校では、音響施設が整った教室が他にあることからまだ回避できているそうですが、先駆けている所の失敗事例等を踏まえて計画されていることを願います。 次に、小規模校化が予想される小学校の統廃合に賛成します。統合された後の施設の使われ方への一意見です。 人口の規模は違いますが、近隣の市では、療育センターと小学校の連携がなされています。現在座間市でもサニープレイスが福祉の拠点としてあるかと思いますが、統廃合後の小学校(ひばり小学校？旭小学校？)にその機能をもたせ、2拠点にできたら、さらに子どもの支援が充実するのではと感じています。 その施設内には、診療内科等のクリニックの誘致、療育や作業療法が受けられる施設、また「つばさ」のような不登校児のフリースクール、さらにコミュニティセンターや、地域の方に開かれた場(大和のシリウスや厚木のアミューのような)、育児支援センター、そして高齢者の方のデイケア等も誘致できれば、様々な世代や対象の方が集まれる場になるのではと考えます。 その中でも児童、生徒の支援体制について現場の人間として感じていることは、座間市は伸びしろがある時期といえます。 通級指導教室も、様々な働きかけがあり、多くの小学校に設置されてきましたが、専門性をもたせるのはこれからで、発展途上にあります。 現場の先生方は目の前の子どものことを考え一生懸命やられている一方で、本来の役割を担えているかの点についてはこれからといえます。 そのような意味では、座間市の「センター的機能をもつ場」となる所が将来的にあれば、どれだけの子どもと市民と職員の道しるべになり救われるのではと思っております。 これから様々な案が集約され、改変されていくことと思いますが、限りある資源や資産を、余分な予算をかけずに有効に使われることを願っております。	新しい学校の施設面や統廃合後の跡地利用など、学校再編全般に関する御提言として受け止めさせていただきます。
14	12	私は現在、厚木市で中学校教員を務めています。 厚木市は中学校においては各学年7クラス規模の大規模校から、各学年1～2クラスの小規模校まで多岐に渡ります。 私が勤務している中学校では、5年前まで6クラス規模だったのが、数年後に3クラス規模と予測されており、学区の3小学校は単級の学年が増加しています。 義務標準法が改正されない限り、児童生徒数の減少による教職員数の減少は避けられない状況ですから、厚木市内のように大規模から小規模まであると、教職員の分掌を含めた負担の差が明らかであります。 また、中学校で考えると、3クラス規模は本務者で賄える教科数に限界があり、多くの会計年度職員に頼らざるを得ない状況で、勤務やりくり等で管理職も苦労してると聞きます。 また、単級の場合、人間関係のトラブルがあってもクラスを変えることはできませんからそれが低学年であるほど、先が長く辛い学校生活を児童、生徒が送ることになります。 そのことを考えると、望ましい学級数は現在の義務標準法と照らし合わせた際に、適する職員数になることが考えられます。 そして、ひばりが丘小をはじめ、小規模になりすぎる前に、早急に統廃合を進める必要があると考えます。 今回の資料には校舎の経過年数も記載されており、建て替えが必要との記載も見られます。 財政が厳しい中ではありますが、資料の後半にある、再編による新しい学校イメージにあるように、教職員が働きやすく、児童生徒も楽しく通える学校再編を望みます。 冒頭より、厚木市はすでに小規模化している学校があることから中学校は3クラスからが適正と考えられています。 また、再編しようにも学区が広すぎたり、地域の関係があったりで先に進んでいません。 座間市も地域の根強い要望もあるかも知れませんが、教職員や児童生徒の安心、安全、幸せを考え、骨子案に基づき、適切で速やかな再編、統合になることを期待します。	望ましい学校規模と学校運営の関係性などに関する御意見として受け止めさせていただきます。

No		意見	市の考え方
意見	提出者		
15	13	今後も続く少子化や学校設備のメンテナンス費用がかかることを考えると、市として学区の見直しによる統合再編を実施していく必要があることは、賛成できます。 一方、現在子供を学校に通わせている親の立場としては、自分の子供が、この再編のために転校を強いられるのかどうなのか？ということが心配事です。まだ、具体的には検討段階なのかもしれませんが、親としてはその辺が1番知りたいことなのではと思います。ぜひ、現在通っている子供はその兄弟も含めて同じ学校で卒業まで転校せずに通えるようにしていただきたいです。	再編実施の手法などに関する具体的な内容は、今後作成する素案以降でお示しさせていただきます。
16	14	再編を考えているのはよくわかりましたが、結局今住んでいる地域で学校が変わるのかどうか？結論ファーストで資料を作ってください。	具体的な再編プランなどの内容は、今後作成する素案以降でお示しさせていただきます。
17	15	私は、西中学区に住んでいますが、座間小学校と入谷小学校の学区の広さが違うためにそれが児童数の差につながっていると思っています。そのため、入谷小学校の学区をもっと広げて座間小学校の学区を狭くするようにして欲しい。その場合は、入谷小学校に通う児童の通学路における安全面を十分に考え、歩道橋等の設置を希望します。	西部エリアの通学区域見直しについての御提言として受け止めさせていただきます。

No 意見	No 提出者	意見	市の考え方
18	16	座間市学校再編計画(骨子案)の説明会誰でも参加できるようにしていただきありがとうございます。座間の現状、良い点、改善点等全てではありませんが、大まかに理解できました。色々な立場の方からのお話も勉強になりました。 少子高齢化が地域によりばらつきがあるのは通勤などの問題で駅に近い場所に住む方が多いからでしょうか？ 私は栗原地区に住んでいるので、確かにバス便が少なくなっているのは感じています。 今は運転ができますが、年齢を重ね運転ができなくなったときの不安も感じていますし、周りでも不安の声を聞きます。 色々な方からの嘘偽りない忌憚ない本音の話を聞いていただき、今後の学校含め座間市全体の改善をしていただけると助かります。 学校に関しては、私はコミスクボランティアで時々参加させていただいているのですが、PTA役員より負担が少なく気楽に楽しく参加できるのでもっと色々な方に参加していただきたいです。学校、地域の良い点、改善点が分かるようになりました。 農家の方、地域の方にお米作り、サツマイモ栽培、とうもろこしの皮むき等色々教えていただいたり、コミセン、自治会、社協等との連携等とても良い行いだと思います。 他地域ではどのようなことをおこなっているのか調べたところ、愛知県浄水北小学校、浄水中学校でPTAではなく、ＰＴＣＡという良い行いがあり、その方向で進めていただけると今の座間市の課題解決にもつながり老若男女にとって良い循環になると思います。 機会がありましたら市役所、教育委員会等でお話を伺って参考にしていただけると助かります。 あと、子どもと大人の居場所づくりの件は栗原プール跡地でのエールパークも子どもたちの放課後の遊び場としてとても助かってます。 最近物騒世の中なので大人が見守りしてくださるのも治安面でも安心です。 あと、現在給食試食会は6年生の修学旅行のときに小学校でしていただいていますが、仕事等の都合でなかなか全ての方に給食試食いただくのが難しい状況です。 あと、準備等の負担もあるので学校ホームページ等での発信のみになり、試食会自体がなくなってしまうかもしれませんし、諸々現在の世の中の事情で実現難しいと思いますが、ほぼ全ての親子が集まる入学式等に給食の試食をしていただくか、入学前の保護者の方に現在の6年生修学旅行のときにしている給食試食会に参加していただいても良いのかなと思います。 入学前に試食できると初めてのお子さんがいる親御さんも安心すると思います。 私はコロナ禍あけから3年間試食させていただいてますが、上の高校生の娘のときに食べておけばたくさんの新鮮な地元の農家の方の食材を使った美味しい給食の有難みをもっと早く理解できたのにと後悔しました。 上の娘のときは下の息子が双子で主人の仕事も多忙で私も仕事をしながら、学校の役員、行事、イベントに関わることが難しくなかなか色々なことに参加することができませんでした。 上の娘が高校生になり、少しずつ視野が広がり座間市について色々なことに興味がでてきたので今後の座間市にとって自分で無理なくできることは協力したいと思っています。 市役所、教育委員会、社協、警察、消防等の方からも本音で市民に協力してほしいことを老若男女誰にでも分かりやすく発信していただけると助かります。	学校再編や教育行政全般について、具体的事例を交えた御提言として、受け止めさせていただきます。引き続き、学校再編計画については、広く周知を図ってまいります。
19	17	再来年度、栗原小学校に就学予定の子どもを持つ親です。南栗原四丁目に住んでいますが、栗原小学校は距離が遠く通学に時間がかかるうえに、通学路も急な坂があったり、狭くて危険なところが多く、通学させるのが心配です。 東原小学校なら平地で広い通学路で通えますし、距離も栗原小学校とあまり変わりませんので、そちらに通いたいです。学区の再編をお願いしたいです。	通学距離や道路環境に関連した学区再編の御意見として、受け止めさせていただきます。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
20	18	この度は、意見を述べさせていただく貴重な機会をありがとうございます。 不登校児は年々増加しており、早急に取り組むべき喫緊の課題だと感じております。 私は、昨年度に小学生の娘が不登校となり、今年度に再登校を果たした経験から、座間市の不登校支援について提言させていただきます。 子どもが不登校になった当初、支援の手がほとんどなく、親子ともに強い孤独感を覚えました。 その後、私自身が不登校に関する書籍を読み、学ぶ中で気づいたのは、子どもへの支援に加え、保護者自身の意識の変化や関わり方の見直しが子どもの回復に大きく影響するということでした。 実際に、私が接し方を変えたことで、娘はみるみる元気を取り戻していきました。 そこで、不登校児の保護者への支援の充実を以下のように提案いたします。 【提案内容】 ① 保護者の居場所づくり（つながるカフェ） 　月１回程度の開催。不登校支援に詳しい方や経験者をファシリテーターとし、安心して語り合える場を設ける。 ② 家庭支援員（ペアレンツサポーター）の派遣 　専門家が定期的に家庭を訪問し、保護者の相談対応や子どもの様子の確認を行う。 ③ 保護者向け学び講座の開催 　「不登校」「思春期」「発達理解」「家庭での声かけ」などをテーマに、専門家による講演と懇談を年数回実施する。 これらの取組みを進めるにあたっては、 教育委員会、社会福祉協議会、ミナクルあすなろの家、えびな・ざまエールの会、学習支援ボランティアなど、地域の関係機関と連携して実施していくことを提案いたします。 また、娘が登校を再開する大きなきっかけとなったのは、おいしい給食の存在でした。 「食」は人の心を動かす大きな原動力になります。 ぜひ、中学校でも小学校と同じ水準で、子どもたちが楽しみにできるおいしい給食の提供をお願いしたいと思います。 以上です。ご検討のほど、よろしくお願いいたします。	不登校支援に関する御提言として受け止めさせていただきます。
21	19	10月30日、わかりやすいご説明、有難う御座いました。 再編後の学校のイメージが提示されていましたが、学校に今まで以上に地域の方々や職員・生徒以外の方々が来られる様になると思いますが、学校のセキュリティーの確保をどの様に考えているのか？をお聞かせいただきたいです。	新しい学校の具体的なセキュリティ対策は今後検討していきますが、動線を切り分けるなどの先進事例を参考にしながら進めていきたいと考えています。
22		学校は、避難所としての機能も有していると思いますが、再編で使わなくなった学校跡を公共の建物として、有事の際は避難所等として使える様な計画にしていただければ…と思います。	学校の跡地利用に関する御提言として受け止めさせていただきます。

No 意見	No 提出者	意見	市の考え方
23	19	全体計画として、10～20年後との事でしたので、その時の当事者(10～20年後の児童・生徒、10～20年後の児童・生徒の保護者)の方々のご意見をいただける様な、説明会をした方が良いのでは？と思いました。	今般の説明会は、全体の方向性を示す骨子案に関するものであり、その内容を幅広く多くの方に知っていただくため、開催日時等を決めたものです。今後については、いただいた御提言等を踏まえ検討してまいります。
24	20	座間市の学校再編ビジョン「魅力ある学校」およびその三本柱の方向性に賛同いたします。その上で、特に中学校に関して意見を述べます。 児童・生徒が「魅力ある学校」と感じるためには、市内全校を一律の方針で画一的に発展させるだけでは不十分だと考えます。義務教育の基礎を確保した上で、各学校が独自の特色を持つことが重要です。その特色は、特定の校長や教員の個人的な力量による一時的なものではなく、市としての中長期的教育戦略（10年?20年スパン）として計画的に形成されるべきです。 たとえば、ある学校は数学教育を強化する、別の学校は美術教育で特色を持つ、また別の学校は英語教育に重点を置くといった具合に、市として明確な方針をもって各校を差別化し、そのための人的・物的資源（教職員配置、施設整備など）を適切に配分することが必要だと考えます。 このように「計画的に特色を持たせた学校づくり」こそが、「魅力ある学校」への近道ではないでしょうか。 また、これを実現するためには、学区制度の柔軟化、あるいは廃止を検討し、生徒が自らの興味・将来像に最も合う学校を選択できる仕組みが求められます。 高校段階でのスーパーサイエンスハイスクール（SSH）のような制度の中学校版と捉えることもできます。 現行の文部科学省制度との整合性の問題もあるかと思いますが、市独自の工夫により、その枠を超える「真に魅力ある学校」を実現できると考えます。 以上、意見として提出いたします。	教育行政全般、魅力ある学校づくりに関する御提言として受け止めさせていただきます。
25	21	今後のクラス数について、 ひばり小と旭小は20年後減少傾向にあるとのことでしたが、 東原小だけ一度は減少傾向にありつつもその後回復するとのことでした。 その考えに基づくものは何ですか？ なぜ東部のうち東原小だけが減少したあと増える試算なのでしょうか？	住民基本台帳人口を基準に、コーホート要因法（厚労省の研究機関でもある国立社会保障・人口問題研究所においても採用されている計算式）による推計を用いて算出したものです。推測の域を出ませんが、鉄道駅周辺を通学区域に含んでいる地域は同様の傾向があるため、東原小学校については、さがみ野駅周辺の転出入件数が影響しているものと考えています。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
26		学校を統合、というのは具体的にどのようにですか？ 早くて再来年の4月から計画スタートとのことですが、校舎の立て替えの計画はあるのですか？ 児童数が減っているので統合ということに反対はしませんが、いずれの校舎もかなり古いので、仮期間を含めたとしても統合した人数を受け入れられるのか心配です。	骨子案に記載のとおり、建替えの必要性は示しておりますが、統合内容を含めた具体的な内容は、今後作成する素案以降でお示しさせていただきます。また、統合の際には児童生徒数を勘案しながら進めてまいります。
27	21	学校運営協議会(CS)の話がでましたので、自分も旭小のCS委員なので私見を申し上げます。 CSの説明会でも昨日の説明会でも、かなり『地域』に市側が期待されている印象を受けました。 もちろんこれからの学校のあり方に地域を外してはいけないと思います。 ただ、CSでも昨日の件でも数回しか出てこなかったワード、『保護者』に注目されていないような気がしてならないのです。 私は本読みボランティアの運営にも関わりましたし現在放課後子ども教室にも関わっています。 そこで感じているのが、年々どんどん増えていく『保護者の、子どもを取り巻く環境(ハード面もソフト面も)への無関心』です。 子どもが自分の傍にいるときだけいい子でいてくれればいい、 学校に行くために1歩玄関から出たらもう私(保護者)の責任じゃない、学校が面倒みてくれるんでしょ？ PTA？本読みボランティア？コミュニティスクール？そんなのだれかやれる人がやればいいじゃない 放課後子ども教室はもっと私たちの都合のいいルールにしなさいよ 一昔前はこういう考えの保護者が一部いらっしゃいました。現在は大半です。 するとやらなくてはならない役はありますのでほぼ決まった人だけに複数の役割がのしかかってきます。 地域も同じです。 私の職場でも定年が75歳に引き上げられ、70歳をすぎても働いていらっしゃる方を多く見ます。 すると子どもたちが在校、または下校の時間に授業のお手伝いや下校の見守り等で地域に残ってる人は少ないです。 すると残った人だけに複数の役割がのしかかっています。 現状、保護者も地域も複数の役割を担っている方々は疲弊しています。 前の話に戻りますが、保護者の無関心が大きくなるにつれ、学校の先生方もどんどん大変になります。 それを解消したいが故のCSも、複数の役割を担っている人にさらにお願いすることになるので悲鳴を上げています。CSで保護者を募ってもほぼ無関心で来てくれません。 子どもたちのために、地域のためにいい活動ができないばかりか、存在意義に疑問を感じる委員も増えてきています。 なので今回の計画では子どもたちも地域もそうですが、 保護者にも重きをおいてほしいと思います。 保護者にもアンケートを…とおっしゃるのでしょうが、それよりも働いている保護者でももっと子どものこと、学校のことにも関わっていけるようなハード面とソフト面を早急に整備してほしいと思いました。	保護者の関わり方に関する御提言として受け止めさせていただきます。
28	22	座間市で未就学児を育てています。職業は教員です。オープンスペースの設置については、慎重にすべきだと思いました。発達特性によっては周りのクラスの様子が気になり、落ち着いて学習できない子がいます。また、オープンスペースを設けることで教員の目が行き届かない場所が増えたり、子どもたちが走ったり、たむろしたりといった問題も出てきます。以前、オープンスペースのある学校に勤めていましたが教員の負担が大きいと感じました。教員やスタッフの数を増やすなどの対策なしに、場所を増やすことはあまり得策だとは思えません。 一方、地域を巻き込んだ場所にするのは良いアイデアだと思います。ただ、この点も対応するために教員(教頭やコーディネーターなど)の負担が増えることが懸念されますので、対策が必要だと思います。自然を観察できる屋外空間を地域の方と作っていく活動は、ぜひ自分の子どもにも体験してほしいと思いました。	新しい学校の施設面やそれに伴う学校運営に関する御提言として受け止めさせていただきます。

No		意見	市の考え方
意見	提出者		
29	23	五歳児を持つ親です。　栗原小学校の学区ですが、自宅から離れている上に、狭い道路や交通量の多い交差点を跨ぐことに心配です。また、保育園が東原小学校行く子供も多く、せめて246以南で一つの学区にして欲しいと考えています。同じ子供たちが同じ学区であればいじめ問題など減るとも考えています。親側も旗振りなどの負担も減るし良いです。	通学区域や分散進学など再編全般についての御意見として受け止めさせていただきます。なお、具体的な学区等については、今後作成する素案以降でお示しさせていただきます。
30	24	小学校に関しては 東部エリアと中央部エリアの統合はしなくても良いのではないか。 東部と中央部では、川や谷を境に別れている場所が多い。その為、統合してその間を行き来する事を考えると、見通しが悪く、道も坂や雑木林が多くて狭いし車通りも多く通学に不安を感じる。 東部は東原小学校から駅までの桜並木を代表に、通学路が整備されている所も多い。周りの環境の方が変えるのが難しいと思うので整備されている学校をなくす必要はない。学校の古さや子どもの数も大事だが、安全面や周りの環境を一番に考えるべきだと思う。 ひばりが丘と旭小は人数が少なくなっているというのもあるので、東部エリアの中で再編し東部で2つの学校に集めるというのも良いと思う。 中央部は立野台小を分けると良いのではないか。各小学校への道路も大きく見通しの悪い坂も少ない。 中学校に関しては、複数の中学に別れての進学を指摘されているが、実際に別れての進学の学校だったがデメリットがなかったので変える必要ないのではないか。	中央及び東部エリアの具体的な再編案及び分散進学についてのご提言、ご意見として受け止めさせていただきます。
31	25	複合化を行うことで建物の用途が学校に留まらず、集会場用途などの適用を受ける可能性があると思いますが、用途地域の問題にはどのように対処するのでしょうか。	他公共施設の集約化、複合化は、計画策定後に学校ごとに作成する基本構想を作成する際に検討する想定ですので、ご指摘の様なケースが生じる場合の解決方法等は今後研究してまいります。
32	26	座間市には、通級指導教室（言語通級教室・情緒通級教室）、国際教室（日本語指導教室）、校内教育支援センター（校内居場所）が各小中学校に設置されています。児童生徒数は減少傾向であっても、特別な支援が必要な児童生徒数や、外国籍の児童生徒数、不登校傾向の児童生徒数は他市町村と同様に増加傾向にあるかと思います。たとえ学校が再編となったとしても、通級指導教室・国際教室・校内教育支援センターについては、人的配置のみならず施設面・環境面も含めた整備を推進して欲しいです。なお、通級指導教室は保護者付添負担の軽減のため、他校通級型ではなく自校通級型あるいは巡回指導（派遣型指導）の形態を望みます。	学校再編に当たっての通級指導教室や国際教室などのハード・ソフト両面の整備に関する御提言として受け止めさせていただきます。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
33	26	「未来へつなぐ学校づくり説明会」を開催していますが、基本的に平日夜間開催が中心で、昼間や休日の開催がないのはなぜでしょうか？再編で最も影響を受ける可能性があるのは、未就学児を含めた子育て世代の家庭だと思います。昼間・休日の開催はもちろんのこと、市内の子育て支援センターでの開催や、託児ができる環境での開催を実施検討した方がよろしいのではないかと思います。	今般の説明会は、全体の方向性を示す骨子案に関するものであり、その内容を幅広く多くの方に知っていただくため、開催日時等を決めたものです。今後については、いただいた御提言等を踏まえ検討してまいります。
34		「地域とともにある学校」の箇所に、「子どもたちの放課後の居場所」を明記して欲しいです。児童生徒数は減少傾向であっても、共働きの家庭数までは減少していない（むしろ増加傾向である）と思います。国（子ども家庭庁）が共働き・共育て政策を推進している状況に合わせて、座間市でも共働き・共育て推進の一環として「放課後の居場所」を学校内に作って欲しいです。座間市では、児童ホームを学校内に設置している小学校が多く、子どもの通所負担面や保護者の送迎負担面などで、共働き家庭への負担軽減の一助となっています。また、地域の目がある場所で子どもたちが遊んでいれば、保護者も安心できる面も期待できるのと同時に、地域による子どもたちの育成につながると思います。骨子案の10ページの箇所にぜひ「子どもたちの放課後の居場所」を明記することを望みます。	子どもたちの放課後の居場所に関する御意見として受け止めさせていただきます。
35		学校再編では、施設整備を中心にしたハード面がクローズアップされてはいますが、ソフト面にも配慮する必要があると思います。学校の働き方改革はすでに検討・実施されてきていると思いますが、学校再編があっても「その現場で働きたい」と教員が思うようなソフト面の政策があってのこそだと思います。神奈川県で採用された教員は、ある程度の勤務地を希望できると聞いています。また、毎年度末に公表される教員異動情報を見ても、市外へ異動する教員が多い市がある一方で、市外から異動してくる教員が多い市があることに個人として気になってはいました。教員のモチベーションを高めるためのバックアップを行政が行うことで、座間市に勤務を命じられた教員が「座間市で勤務できてよかった」と思うようなソフト面の取り組みを骨子案に組み込む必要があると思います。それは、最終的に子どもたちへの教育や学力向上につながっていくのではないでしょうか。	ソフト面の取組に関する御提言として受け止めさせていただきます。
36		座間市では一部地域で「指定校変更許可区域」が設定され、その地域では保護者側が学校選択をできるようになっています。中学校の部活に関しては、通学する中学校が弾力的に対応できるように検討して欲しいです。どの中学校にも同じ部活動が横並びで設置されている状況ではありません。中学校が再編となると「子どもたちがやりたい部活が、進学先の中学校にない」ケースが発生する可能性が考えられます。さらに、部活動の地域移行が検討される状況でもあります。他市では「部活動を理由とする中学校の変更制度」を実施されています。部活動も子どもたちの学習権補償の一環として考慮する必要があると思います。他方では、とある指定校変更許可区域に住む家庭で「近隣の子どもはA小学校に行っているが、私はB小学校を意図的に選んで子どもを通学させている」と話す保護者がいました。中学校のみならず小学校でも、学校を選択できる余地があれば望む家庭は少なくないかと思います。通学している骨子案では「指定校変更許可区域」には言及されてはいませんでしたが、学校再編検討と並行して、通学区域の弾力化も進めていくことを臨みます。	通学区域の選択に関する御提言として受け止めさせていただきます。今後、部活動の地域移行と共に、指定校変更制度について検討してまいります。
37		児童生徒一人ひとりの多様性を踏まえた教育を実践するための教室の確保やバリアフリー設備の整備が、座間市の喫緊の課題となっていることにも骨子案で言及する必要があると思います。過去20年間の普通学級児童生徒数は減少傾向ですが、特別支援学級の児童生徒数は年々増加傾向です。肢体不自由級・病弱虚弱級・弱視級の児童生徒や、増加傾向にある障害者採用の教職員に配慮したバリアフリー設備は、各小中学校で十分に整備されていないと思います。また、外国籍児童生徒数の増加に伴い、日本語指導を指導を必要とする児童生徒数も年々増加傾向です。さらに、情緒通級・言語通級などの通級指導を必要とする児童生徒数も増加傾向です。その一方で、座間市では情緒通級指導を理由とする区域外就学は認められておらず、情緒通級が設置されていない小中学校では、必要な支援が届いていない児童生徒が各校にいると思います。そして、不登校傾向の児童生徒数も年々増加傾向です。国が推進している校内教育支援センターの設置が、座間市の各小中学校でも求められている状況だと思います。骨子案では、児童生徒数が減少していることに重きを置いた表現が中心になっていますが、特別な支援や配慮が必要な児童生徒が年々増加していることにも注視する必要があると思います。普通学級が減少しても、特別支援学級や国際教室（日本語指導教室）、通級指導教室、校内教育支援センターの設置が求められる状況です。学校再編計画に基づいて学校施設が更新される時には、どのような教育にも対応できる教室や施設を各校で整備していただき、インクルーシブ教育を推進して欲しいです。	多様性を踏まえた施設整備や学校運営に関する御意見として受け止めさせていただきます。 なお、本計画の基となる、ざま魅力ある学校づくり方針で、バリアフリーの推進や特別支援・通級指導の充実などについてお示ししています。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
38	27	先日の説明会に参加させていただきました。 教育長が着席した私に「ありがとうございます」と丁寧にご挨拶してくださいました事がとても印象的でした。市民を大事に考えてくださってるように感じ嬉しく感じました。 また他の委員の方々も丁寧にご説明くださり、参加者の意見も建設的で説明会に参加して良かったです。 市民の意見を丁寧に聴きながら子どもたちがどうしたら笑顔で過ごせるかと公が市民の目線に合わせてくださる姿勢に私は座間市民で良かったと感じました。 私のパブリックコメントを記します。 学校の統合などと合わせて通学路の安全性は確保して頂きたいと考えます。一例として、相模野小の通学路には座間街道沿いを歩く地域があります。 交通量も多く、トラックも多い座間街道であっても通学路にはガードレールがありません。法律上で道幅などで設置不可能なのかも知れませんが、交通量の多い座間街道の通学路くらいはガードレールは必要ではないかと考えます。 またイオン沿いの一本道が通学路の地域があります。この通学路の雑草刈り込みについては年に2回？の予算がついてるとお聞きしましていますが、2回のタイミングが悪いのか？かなりの背丈になるほどに伸びて歩道が狭くなり、自転車と子どもたちが行き違いがしにくい事も多々あります。自転車の大人が子どもたちに「邪魔だ」と罵声を浴びせる事もあります。かなりのスピードで自転車が通り心配しています。	通学路の安全対策に関する御意見として受け止めさせていただきます。
39		中学の給食について、最近はなんでも無償化にすると支持が上がるからかいろんな自治体で給食費無償化をやっています。でもその無償化が質を下げての無償化では本末転倒かと考えます。 食は身体も作りますが心も作ります。未来ある座間の子どもたちには大阪の泉大津市でやってるような給食になるといいですね。（ちなみに我が家は中学生ですが弁当になって食材もメニューも安心したものを子どもに食べさせる事が出来るので弁当万歳です）	中学校給食に関する御意見として受け止めさせていただきます。
40		日本語ができない外国人の子どもの対応で疲弊している教育現場を耳にします。本来、日本国に住む日本人の子どもたちに悪影響がないようにお願いしたいところです。	学校運営に関する御意見として受け止めさせていただきます。
41		体育館は災害での避難所になります。廃校など仕方のない事ですが避難所などの事まで考慮しなくてはと考えます。	学校の跡地利用に関する御提言として受け止めさせていただきます。
42		世界的に脱炭素政策から退いているこの頃。ソーラーパネルは有毒物質が含まれている点、消火出来ない点、表面温度は80度近くになる点、廃棄処分について問題点がある点、ソーラーをやるほど再エネ賦課金で国民が負担を強いられほぼ中国に利益がいく点などからしてもつけるべきではないと考えます。	学校施設の脱炭素化に関する御意見として受け止めさせていただきます。
43		座間市から地域の方が参加する部活動についてアンケートがありましたが、性犯罪や安全面などを考えると心配があります。部活動は他の国ではみられない協調性や忍耐力などを養う事が出来る素晴らしい取り組みだと思うので存続して欲しいです。 現在、中学からは先生方の働き方改革なのか？朝練もない、土日も両日はやらないなど、部活の縮小方向かと思われる雰囲気があり心配します。	部活動に関する御意見として受け止めさせていただきます。
44		説明会当日に参加者から出ていた意見の中高一貫のアイデアはいいなと思いました。 座間市に愛着を持つ子どもたちがたくさん増えるような計画実行になるようよろしくお願いします。	一貫教育に関する御意見として受け止めさせていただきます。
45	28	座間市学校再編計画に賛同します。 学区の見直しについて。私は四ツ谷地区に住んでいます。学区は座間小に該当しますが、登校距離は入谷小とあまり変わりません。 通学路の安全性や小学校の規模などを考慮すると選択できるならば、入谷小に通学させたいと思いました。	西部エリアの通学区域見直しについての御提言として受け止めさせていただきます。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
46	29	一クラスの人数はコロナ禍で、今の半数程度が担任との関係性や目や手が行き届くことが認識されてます。 35人学級を30人学級に自治体先行で実施していくべき。加えて、国にも少人数20名程度のクラスにしていくよう求めて欲しい。	一学級当たりの児童生徒数に関する御意見として受け止めさせていただきます。
47		万が一、小中が同じ敷地になる場合は、小学校と中学校でそれぞれ校長や教頭を配置し、機能的に一貫校としないで欲しい。 校庭が狭くなるので、体育館を二階建てにするなど、小学生がのびのび身体を動かせるスペースを確保するべき。	一貫教育に関する御意見として受け止めさせていただきます。
48		オープンスペースは良いが、今の教員数で見守れるのか？	新しい学校の施設面やそれに伴う学校運営に関する御提言として受け止めさせていただきます。
49		コミスク活用は良いが、憲法と教育基本法をバックボーンに教育の目的を遂行して欲しい。	コミュニティスクールに関する御意見として受け止めさせていただきます。
50		中学校の食缶給食を望む。中学校の敷地内に給食室を設置して欲しい。	中学校給食に関する御意見として受け止めさせていただきます。
51		児童館を潰して、世代交流会ができる場所にするとコミセンを作ったが、子どもの声や動作がうるさいと苦情があった時代もある。子どもの居場所をなくした。老人だけで楽しみたいのであれば老人憩いの家を活用して欲しい。	児童生徒や学校を基軸に考えながら、地域とともにある学校づくりを進めてまいります。
52		学校建設の際には、遮熱建材も使い地元の業者も潤うよう配慮して欲しい。	学校建替え時の建材等の詳細については、設計時や、その前に作成する基本構想、基本設計で検討していきます。 なお、市では市内業者の育成・振興および市内経済の活性化の観点から、市内業者への受注機会の拡大を図っています。
53		複合化の学校を考えているようだが、あくまでも子ども中心の場であること。 セキュリティを万全にすること。	他公共施設の複合化に関する御意見として受け止めさせていただきます。

No 意見	No 提出者	意見	市の考え方
54	30	小学校に関して 座間市は山や谷の地形が多く、見通しの悪い所が多い。現在の小学校は通学路を整備されている場所も多い。学校を変えるよりも通学路や周りの環境を変える方が難しいので、安全面を重視した区画整理が良いと思う。芹沢公園はよく不審者が出ていたイメージが強いため、芹沢公園を跨ぐような区画整理はするべきでないと思う。また、その周辺は谷状になっていて、抜け道になっており、車通りも多く見通しも悪い。 谷状が市内の下部まで繋がっているので、そこを跨がないようにする方が良い。自治会に関しては問題ないとおもうが、自治会が分かれているのが問題になるのであれば自治会を整備すればよいのではないか。 中学校に関して 中学が分かれることで、新しい友達もできるし問題ないのではないか。もしくは選択出来るようにすれば良いと思う。	通学区域の見直し、分散進学に関する御意見として受け止めさせていただきます。また、自治会区との整合については、市自治会総連合会と連携し協議を進めてまいります。
55	31	学校編成の際、児童ホーム(学童クラブ)を学校と同じ敷地内に配置することを提案します。	他公共施設の複合化や子どもたちの放課後の居場所に関する御意見として受け止めさせていただきます。
56	32	座間市学校再編計画を拝見しました。 当方は立野台小学校で、今後も望ましい学校規模が保たれると想定されています。 それは良い傾向と思っておりますが、学校設備に関しては問題があると思っております。 立野台小学校よりも老朽化が進んでいる学校は建て替えも検討されているようですが、立野台小学校は該当しないようです。 すると、現状が今後も続くと考えられます。それはいかがなものでしょうか。 一番はトイレです。未だに個室の半数、またはそれ以上が和式です。 近隣の市の小学校では全面洋式化されているとも聞きます。 建て替えが検討されないのであれば、せめて、トイレだけでも早急に洋式化するべきではないでしょうか？ 小学校入学に際して、和式トイレの使い方の練習が必要であっても、練習できる和式トイレを探すだけでも大変です。 小柄な子供は跨ぐことも容易ではありません。現代日本で、大人が使う施設に和式トイレが半数以上になっているところなど、探すことが大変なくらいではないでしょうか？ その中で、子供たちが朝から夕方まで年間何百日も過ごす学校のトイレが和式トイレで使いにくいままでおかれている、というのは、自分たちで訴える力のない子供たちが後回しにされ我慢させられているように感じます。 また、今後起こるとされている南海トラフ地震の際には、学校は避難場所となります。 その時に、和式トイレのままでは、大人(特に高齢者)も使えない方が出てくるのではないでしょうか？ 同様の理由から、体育館の冷暖房完備も必要であると考えますが、まずは、せめてトイレだけでも早急に改修していただきたいです。	各学校の築年数等を総合的に判断した上で改築等を進めますが、施設によっては、既存の建物を改修しながら使用することを想定しています。 なお、トイレの洋式化については、計画的に順次改修を進めているところです。
57	33	学区再編に伴って、踏切を渡るような通学ルートは避けてほしい。	再編に伴う通学路設定についての御意見として受け止めさせていただきます。
58		統合に伴って、先生方を減らすのではなく副担任制などでひとクラスに２人担任を置くなど手厚い指導体制を取ってほしい。	教職員の配置に関する御意見として受け止めさせていただきます。 なお、各学校に配置される教職員数は学級数に応じて配置されています。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
59	33	中学校給食はこの物価高の中で急務だと思うので、この再編を待たずも、ぜひ早めに取り入れていただきたい。	中学校給食に関する御意見として受け止めさせていただきます。
60		制服は一斉に変えるのではなく、今まで使用していたものが使える期間を設けてほしい。	市では、市内中学校全６校で統一した標準服を令和５年４月から導入しており、現在移行期間中です。令和１０年４月に移行完了予定です。
61	34	座間市学校再編計画を、一部修正したいと考えます。 具体的には、市内の小中学校を全８校の小中一貫校で義務教育学校とし、学童保育とコミュニティスクールのスペースを併設する。 市内中学校６校と、相模野小学校と入谷小学校の敷地を使用する。 相模野小学校は、隣接して使用を停止している広野プール用地を一体化させ、学区に相武台（自衛隊の宿舎を除く）と栗原を含むこととする。 廃校となる敷地は住宅建設を条件として売却することを基本として、学校建設費に充当する。 座間小学校、栗原小学校. 立野台小学校、相模が丘小学校は、幹線道路沿いにあることから、いずれかを道の駅にすることを検討する。	計画全般に関する御提言として受け止めさせていただきます。
62	35	教員1人あたりに対する児童生徒数を少なくしてほしい。 再編の学校イメージにあるような個々に応じた活動ができるような教室にするためにも、教員数を増やして、児童生徒への対応や指導が充実するようにしてほしい。	教職員の配置に関する御意見として受け止めさせていただきます。 なお、各学校に配置される教職員数は学級数に応じて配置されています。
63		中学校も給食を取り入れてほしい。小学校の給食センターから運ぶ方法も可能ではないか検討してほしい。	中学校給食に関する御意見として受け止めさせていただきます。
64	36	未就学の母親です。 少子化や学校の老朽化で、学校が減ってしまうのは仕方のない事かもしれませんが、学区が広がり遠い所まで通わせるのはやはり心配です。 仕事が終わって迎えに行くまで一定時間待つことが出来る施設（学童のような物）を増やす、通学路になっている道路には通学路である事をもっと分かりやすくする標識等を増やすなどして欲しいです。	通学等に関する御意見として受け止めさせていただきます。
65		未就学の母親です。説明会は、18～20時では参加したくてもできません。その時間は子供は寝る準備の時間です。次回はぜひ日中にお願いします。また、仕事をしてる家庭もあるかもしれません。日にちを増やす、時間を増やす等の対応をお願いいたします。	今般の説明会は、全体の方向性を示す骨子案に関するものであり、その内容を幅広く多くの方に知っていただくため、開催日時等を決めたものです。今後については、いただいた御提言等を踏まえ検討してまいります。

No 意見	No 提出者	意見	市の考え方
66	37	説明会が以前あったようですが、時間が18時半～20時と一体どこの世帯をターゲットにしているのか疑問でした。 未就学児、現在小学生がいるご家庭の親は参加できる時間ではないと思います。 また説明会の予定があるみたいなので、その時は午前中など子育て中の世帯も参加できる時間帯にして欲しいです。	今般の説明会は、全体の方向性を示す骨子案に関するものであり、その内容を幅広く多くの方に知っていただくため、開催日時等を決めたものです。今後については、いただいた御提言等を踏まえ検討してまいります。
67	38	今後より少人数学級へと国が指標を示した際に、学校が減っていたら困らないか。再編による新しい学校のイメージにおいて、スペースや教員に余裕があった方が実現しやすいイメージ。	学級数については、国の動向を注視してまいります。なお、各学校に配置される教職員数は学級数に応じて配置されています。
68		学校が放課後の児童の居場所になっているとしたら、統合によってそれを奪うのは気の毒。 今の子供は居場所が本当に不足している。友人宅NG・空き地や広場は無し・道路遊びNG・公園はボール遊びしにくい…等	学校再編は学級数や児童生徒数を踏まえて進めていくため、児童生徒数に対し学校数が極端に減ることは無いと考えますが、放課後の子どもの居場所としての御意見として受け止めさせていただきます。
69		災害時に学校は不可欠。人口13万人の座間市民の大多数が自宅で避難生活を送れる想定のプランでは不安が残る。	避難所としての学校施設に関する御意見として受け止めさせていただきます。
70		経費削減が目的と推測するが、廃校の跡地は売却するのか。公共施設を減らし民間施設や住宅地となるのは遺憾。廃校後も公共施設として全世帯より多くの人の居場所となる空間利用を望む。	本計画の目的は、子どもたちにとってより良い教育環境を整えることですが、実現には多額の費用が見込まれることから、限りある予算を最大限有効活用していく必要があります。 なお、統廃合後における学校跡地利用については、御意見として受け止めさせていただきます。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
71	39	老朽化での建て替えの前にお手洗いを洋式へ変更することは今まで検討されていなかったのでしょうか。 何故学校のお手洗いが和式のままなのでしょうか。 子供達が快適に過ごせる環境づくりとして第一にお手洗いの改善を求めます。	トイレの洋式化については、計画的に順次改修を進めているところです。
72		座間市内の小学校でも学校によってルールが違うことが多くあると感じます。 良いところは他の学校でも取り入れていく必要があるのではないかと思います。 例えば冬の体育での長ズボン着用も学校によって可、不可と分かれています。1校がダメだから他の学校もダメにしましょうではなく、 1校が良いのだから他の学校も良いにしましょうと前向きに統一できるところは統一して学校によって違うを減らしてほしい。	学校運営に関する御意見として受け止めさせていただきます。
73	40	教員歴17年、二児の母です。 やはり築50年を超えた学校は建替えをするべきだと思います。色々な問題から建替えが難しく、結局、学校施設を部分的にちょこちょこと改修することが多いですが、その費用を貯めておいて建替えに使ってほしいです。 将来さらに学級数が減少すると予想される学校については、長寿命化改修はおこなわず、児童生徒数と築年数を考慮したタイミングで閉校するのがよいと考えます。お金は限られているので。（閉校までの災害対策の工事は必要ですが） とにかく中途半端に長寿命化改修に予算をかけるより、建替えにしっかり予算を使って進めてほしいです。	再編の進め方に関する御提言として受け止めさせていただきます。なお、望ましい学校の実現には、多額の費用が見込まれることから、限りある予算を最大限有効活用してまいります。
74		新しい土地に建替えをする場合は、できるだけ通学の道のりに偏りができないような場所を選んでほしいです。市境近辺に住居がある方などは、学校までの道のりが長くなりがちなので。 親としては、通学の道のりがより短く、安全に通える場所に学校があってほしいと切に願います。 再編の方向性にも書いてある通り、エリアに縛られずに、通学区域を設定してほしいですし、統廃合を考えてほしいです。	望ましい学校配置に関する御意見として受け止めさせていただきます。
75		新しい学校の学習環境について。壁のない教室やオープンスペースでの活動が流行っていますが、音源を使う活動や、子どもが活発に声を出す活動があると、他クラスへ音が聞こえ過ぎる、また他クラスの動きが見え過ぎるというデメリットがあります。集中しにくい子どもにとっては難しい環境になると思います。 広いランチスペースをつくろうとしているようですが、大勢が集まって効果的にコミュニケーションがとれるとは限りません。色々なタイプ、実態の子どもがいるので、広い場所でこそ逃げ場がなくなります。広いランチスペースに縛られず、給食は教室でも食べられるように設計してほしいです。 教員の休憩スペースをつくると記載がありますが、忙しくて休憩できる時間はありませんよ。	新しい学校の施設面に関する御提言として受け止めさせていただきます。
76	41	中学校の給食採用を是非お願いしたいです。 小学校で行っているようにできたらいいですが、給食センターなどの一括でもありがたいです。 現在採用されているお弁当の味が良くない、冷たいなどの話が出ております。早急な対応ですと嬉しいです	中学校給食に関する御意見として受け止めさせていただきます。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
77	42	【望ましい学校規模】 学級数で論じられているが、保護者はクラス人数を重視していると思う。その感覚の違いをすり合わせていただきたい。 【魅力ある学校づくり】 フレキシブルに使える空間・一人一人に応じた支援…理解できる事もあるが、複合化など実現するにあたり出てくるであろう問題点を全く無視しているようにかんじる。 誰にとって魅力があるのか、そこで学ぶ子ども達が安心して過ごせる事を第一に考えてもらいたい。	御意見いただいた事項は、ざま魅力ある学校づくり方針で定めたものです。本方針の策定にあたっては、地域、ＰＴＡ、学識経験者等で検討したほか、学校の先生や保護者からもアンケートを取りながら進めたものですが、再編の進め方に関する御提言として受け止めさせていただきます。
78		【通学距離】 統廃合は仕方ないとして、距離が遠くなり自転車通学になった際には、自転車の助成金（坂が多く電動が望ましい）や安全点検を各家庭に任せず、定期的な安全教室、安全点検を行ってもらいたい。	通学距離や通学方法に関する御提言として受け止めさせていただきます。なお、自転車通学に関する運用については、今後、関係者間で議論を進めます。
79		【住民説明会】 現小学生、中学生がいる保護者ではなく是非新しい施設で学ぶ小さなお子さんのいる親御さんの意見を積極的に取り入れてもらいたい。	今般の説明会は、全体の方向性を示す骨子案に関するものであり、その内容を幅広く多くの方に知っていただくため、開催日時等を決めたものです。今後については、いただいた御提言等を踏まえ検討してまいります。
80	43	Ⅰ　学校施設の高齢化（老朽化という言葉が使われているが必ずしも老朽しているとは思えない。老朽化しているのであればすぐにも建て替える必要があると判断します）に伴い建て替えを検討するのは必要であり、 ⑴ その際、新しいスタイルの学校（片廊下の在来の学校スタイルではなく）開放的な授業の場の提供等に是非していただきたいと思います ⑵ さらに、建物を新しくするだけでなく教育の在り方を改め、地域の中にある学校(地域とともにある学校ではなく)を意識して、地域の知的資源の活用を考えていただきたい（この資源を探すのは地域任せにするだけではなく行政も真剣に行うべきと考える） ⑶ 現在の学校はどちらかというと地域の中心に立てたのではなく、空いている場所や寄付して頂けた場所に建てたもので、児童の通学距離を意識していたものとは思えない、今回学校の再編ということで通学区域の見直しを考えられているが、現状の学校位置を変えずに通学路の配置変更だけで10年後20年後を考えるのは、根本的な解決にならず抜本的な学校配置を考えるべきと判断します。まず、座間市全体の都市計画を考え学校配置を考えてみて、そのあとどうしても解決しない場所のみ修正していくことが必要ではないでしょうか？ちなみに工場や倉庫との等価交換（勿論　建築的な用途地域の見直しも必要）を検討の一つとして考えてみてはいかがでしょうか？	再編に伴う学校配置や建替え等についての御提言として受け止めさせていただきます。

No 意見	提出者	意見	市の考え方
81	43	Ⅱ学校の生徒数と教師人数の関係について 学級の生徒数は小学校では35人が適正であるとの話が各会場で話されていたが、文科省のいう生徒数は上限を35人にする意味で35人以下ではいけないという考え方はないと思います。但し、教員の人数の制限から少人数教室となった場合、教員の数が減り負担が増えるとの意見でしたが、現在の学校では障碍者の方の就業が見当たりません。民間企業では障碍者雇用促進法に基づいて、雇用しない場合は税負担が増えるという考え方があると思います。学校施設では障碍者雇用促進法を適用されていないかもしれません、でも障碍者の雇用機会を増やすことを理由に、必要人数の確保が図られれば教員の負担軽減となり、学校で地域の中で障碍をお持ちの方の積極的雇用を図ることが地域の中にある学校として手本となるのではないでしょうか？これを文科省と話し合い文科省の規定の人数を増やすことを考えませんか？職員の人数についての規定があるのか調べておりませんが教員の負担軽減の一案になりませんか？	教職員の負担軽減、人材確保等に関する御提言として受け止めさせていただきます。
82		Ⅲ学校施設について 学校施設は学習・生活の場であるだけでなく、地域のコミュニティの拠点として地域の人たちとの創造的な活動の場＝共創の場として文科省も規定しています。新設する際にはこれらのことを総合的に機能できる建物にすることを検討していただきたいと思います。特に避難所として市の防災部局と連携し避難所開設・学校再開に必要なスペースや防災機能を十分確保するようお願いいたします 最後に広野台地区自連では11/2の理事会（広野台第二自治会・広野台第3自治会・リビオシティ自治会・地域関係団体(地区社協・民生委委員・交通指導員・児童見守り隊・相模野小避難所運営委員会・広野台地区自主防災連絡協議会・健康ざま普及員・地域防災推進員）の会議(参加者約20名)で別紙座間市学校再編計画骨子案の説明を行いました。 時間の関係で質疑は行いませんでしたが、来年素案が作成されたときは是非関心をもって見てほしい旨伝えました。	地域コミュニティの拠点や避難所としての学校施設に関する御提言として受け止めさせていただきます。 本計画について、独自に周知活動を行っていただきありがとうございました。

No 意見	No 提出者	意見	市の考え方
83	44	10月28日の『未来へつなぐ学校づくり説明会』に参加しました、給食関係に従事している者です。 近年、全国的に少子化が深刻ですが、近隣他市のほうが子育ての面で室内プールがあったり、新しく公園ができたり、市民が使いやすい施設がたくさんあったりと座間市より魅力的に見える部分もありますが、座間市は自校給食なので近隣他市とは違う。この強みをもっとアピールすべきだと考えます。 温かいできたての給食が提供できていて、センター給食ではなかなか提供できない子供達に人気の麺類等が給食に出る点は座間の魅力の一つだと考えます。 この強みを活かしてまずは人口や市税を増やして近隣他市に負けないような施設や生活環境を適正化していってほしいです。 座間市学校再編計画骨子案の説明会での質疑応答時に保護者の方から要望のあった中学校給食の自校給食喫食要望の件も含めまして私の考えをまとめさせていただきます。 中学校給食は親子方式で実現可能かと考えます。 献立の内容にもよりますが、メニューによっては現在ミーティング時間を長く取れる日もありますし、その時間を活用し親子方式の分の調理時間に適応可能で、午後の作業も現行の業務時間内に作業可能だと考えます。工夫と適材適所で人員配置をすれば学年単位等で近隣の小学校から親子方式での給食の配送は可能かと考えます。（いま現在、揚げ物がある日はコンベクションは稼働していませんが、きちんと管理した上で調理の種類を別のものでコンベクション調理可能なものの献立にすることで揚げ物、焼き物で調理個数を増やせますし、ただの人員配置だけでは対応不可なメニューでも献立次第ではいくらでも増数対応可能だと考えます） 様々なルール等の点で無知ではありますが、給食の配送、配膳下膳に関してはシルバー人材さんとの連携、地域の方々のお力添えで対応可能ではないでしょうか。 地域の方やシルバーさんにお力添えをいただき、給食ももちろん実費にて実食していただいて様々な意見なども得られて地域との連携やコミュニティの環境を作れると考えるのはどうでしょうか。 ２０年計画に入っているかはわかりませんが、センター給食を実現する前にスピーディーに保護者の要望に低コストで実現可能だと考えました。 例えばですが試験的に旭小学校とひばりヶ丘小学校で東中学校の分を学年単位等で調理分担配送することで試験導入してみる、近隣地域の方の協力を募り、学校への関心がどの程度を知ることができるかなと思いました。 正規職員の募集が続いていて定年年数も伸びていて人材確保ができている今だからこそできることもあると思いました。 ・20年計画で再編、統合した学校跡地に可能なら給食センターを建設を検討してください。 ・座間の給食が市民の方もなるべく毎日、週に、エリアごとに、長期休暇期間中に、などで食数限定等で利用提供できるような環境があると座間の魅力を最大限にアピールできていいなと思います。 ・いま毎日子供がクロームブックを持っていき、持って帰ってきますが宿題等での利用はされていないようなのでもっと重たい持ち物だけとせず、活用して欲しいです。	親子方式は法令上の制約があり、導入には相応の時間を要し、現時点では対応が難しい状況です。 その他、給食センター建設等、御意見として受け止めさせていただきます。 クロームブックについては、ご家庭で活用する場合のみ持って帰っていただいています。